

**阪神淡路大震災 激震の記録 1995 取材映像アーカイブに
生成 AI を用いた映像レコメンド機能を新搭載
大阪・関西万博会場で開催の防災イベントで披露**

朝日放送グループホールディングス株式会社(大阪市福島区 代表取締役社長 西出将之)は、現在一般公開している Web サイト「阪神淡路大震災 激震の記録 1995 取材映像アーカイブ」に、生成 AI による映像レコメンド機能を新たに追加しました。この機能は、阪神淡路大震災についての質問を聞くと、対応したアーカイブ映像を生成 AI が探して表示してくれるものです。震災から30年の節目となる年に、震災を知らない世代にもより活用いただけるサイトへと進化させることで、放送局の所有する取材アーカイブ映像がリアリティをもって災害教訓を伝える「社会財」として、広く末永く利活用されることを期待しています。

なお、この AI 機能を追加したサイトは、9/1(月)防災の日から4日間、大阪・関西万博会場で開催の防災企画イベント「朝日放送グループ 世界に発信する「防災」の未来設計図」で展示し、来場者に体験していただく予定です。

●「激震の記録 1995 阪神淡路大震災取材映像アーカイブ」

https://www.asahi.co.jp/hanshin_awaji-1995/

2020 年 1 月 10 日(金)一般公開開始

映像数:約 2,200 クリップ、約 40 時間分(2025 年8月時点)

映像協力:サンテレビジョン、ANN 系列各局 / 後援:人と防災未来センター

【追加した機能について】

今回追加した機能は、利用者が知りたいことを質問すると、アーカイブに収蔵された震災取材映像クリップの中から、AI が最適な映像を選び出し、視聴を提案します。阪神・淡路大震災を直接知らない世代にとっても、知りたい情報や映像を探しやすくなり、震災の記録や教訓に触れる機会を広げることが狙いです。朝日放送グループは、震災アーカイブサイトの利便性と価値を高めることで、震災の記憶を風化させず、将来にわたり防災・減災に貢献し続けることを目指しています。

※この新機能は、今年度末までテスト公開を行い、その後本格搭載について検討していきます。

(本機能の特長)

- ・自然な質問で検索可能:キーワード検索だけでなく、文章や会話形式での質問にも対応
- ・最適映像を自動提案:AI が質問の内容を分析し、適した映像を提示
- ・防災教育にも活用可能:学校や地域での防災学習にも活用いただける機能です

(画面イメージ)



(参考)

※関連イベント情報

● 朝日放送グループ 世界に発信する「防災」の未来設計図

特設 HP: <https://www.asahi.co.jp/bosai/event2025/>

【開催日時】2025/9/1(月)≪防災の日≫～9/4(木)

【会場】大阪・関西万博会場内、ギャラリーWEST

【主催】朝日放送グループホールディングス株式会社

【後援】兵庫県、神戸市、大阪府、大阪市、人と防災未来センター



阪神淡路大震災は、テレビが普及して初の大災害でした。避難所の取材も今より許され、多くの被災者インタビューが撮影されました。その時、街は、人は、暮らしはどうなったのか…。カメラ付き携帯電話も SNS も普及していない中、放送局が保有する震災の取材映像には、都市型災害の困難と教訓が多く含まれています。ABC グループはこれらの映像を「社会財」と考え、「阪神淡路取材映像アーカイブ」を一般公開(2020 年)しています。南海トラフ地震や首都直下型地震など、きたるべき大地震に備え、災害に強い地域づくりをめざして、阪神淡路大震災から 30 年となる 2025 年、過去の震災映像が伝える「教訓」を広く共有し、未来の世代に伝えていく提案を万博から発信します。

● 朝日放送グループのサステナビリティについて

<https://corp.asahi.co.jp/ja/csr/index.html>

朝日放送グループは、優先して取り組むべき重要課題「マテリアリティ」のひとつとして「地球の健康を取り戻し次世代へつなぐ」を掲げ、命と暮らしを守る防災・減災報道の強化など様々な取り組みや情報発信を継続して行っています。